

日時： 11月13日（水） 10時～12時

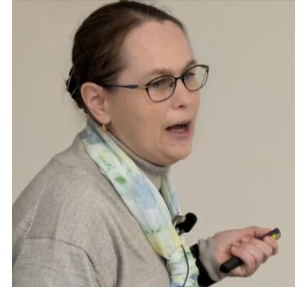
場所： 北大阪学習ホール

講師： 吉田ヴァルヴァーラ（ウクライナ人）

内容： 「戦火のウクライナ文化」

★タイトルにも示されているように戦争下にあるウクライナの現状について

古い歴史のある国が今は隣国ロシアから侵略を受けている惨状についてまず話されました。



ニュースでも見る破壊された町並などの映像はやはり衝動的でした。

ロシアから受けている蛮行や多くの被害について時に涙ぐんでお話しされていました。

毎日現地にいる家族や友人に連絡を取っているそうです。

★そもそもウクライナは、多くの国に囲まれ、かつヨーロッパの真ん中に位置し、長い歴史を誇っていて様々な文化との繋がりを持っています。特に首都キーウには大聖堂があり、美しい教会が立ち並んでいて、大変きれいな町並みがありました。国として「小麦」の一大産地でもあり、豊かな田園地帯が広がっています。



ただこの大切な文化遺産にもロシアから破壊活動が続いているそうです。

★ウクライナには肉料理、野菜料理も様々な形であり、パンの種類も豊富です。最も有名な料理はボルシチ、材料にはビーツが含まれ赤色が特徴にあります。ウクライナ国内では地方ごとにボルシチの特別レシピが必ずあるそうです。



乳製品も非常に好まれ、牛乳、ヨーグルト、バター、生クリーム、サワークリーム、カッテージチーズなどがそのまま食され、多くの料理の材料にも使われています。



★それでもウクライナは伝統を守り続けている。

ウクライナ人にとって一番大切な祭り：冬のクリスマスと春のイースター（復活祭）特にイースターでは皆が特別な料理を作るそうです。

イースターパンとイースターエッグが主役で、その模様は昔から守られ深い意味を持っているとのことなど楽しそうにお話ししていただきました。



(担当3班)